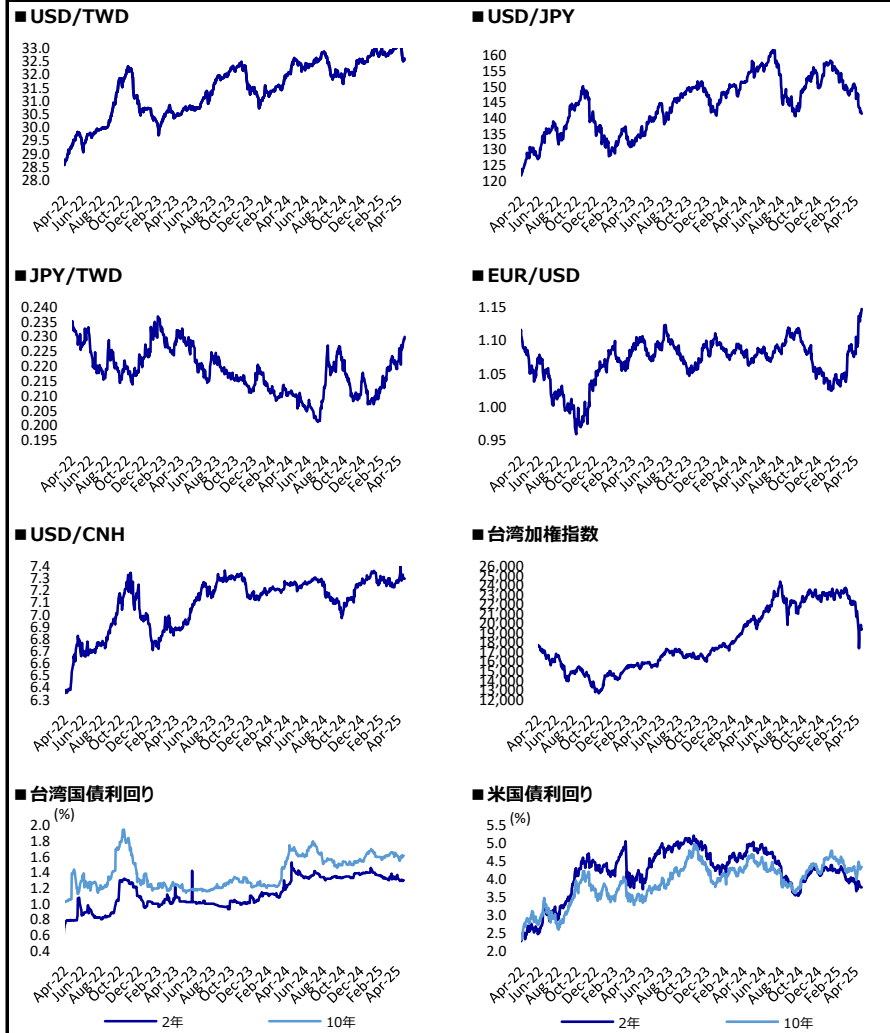


市場動向



先週の市場動向

■ USD/TWD
先週のドル/台湾ドルは下落。週初4/14は32.660でオープン後、米国の高関税政策に対する懸念が根強い中、ドル売りが優勢な展開となり、一時32.448まで下落。4/15は、輸出企業や国内投資家の換金売りで、ドルは一時32.420まで下落したものの、海外市場におけるドル建て資産の売り圧力がやや緩和されたことを受け、ドルの下値も限定的に留まった。4/16、米半導体大手は中国向けに設計したAI半導体が米政府による輸出規制の対象になったため、台湾株安でリスクオフのドル買いが先行し、一時32.525まで上昇。4/17は、海外市場におけるドル安で一時32.480まで売られたものの、政府系や外資による海外送金が入り、ドルの下値をサポート。4/18は、主要海外市場は休場となるものの、国内投資家による海外大口投資フローが入り、ドル買い優勢の展開。最終的には前週比0.30%ドル安台湾ドル高の32.608で先週の取引を終了。週間の外国人投資家の株式売り越し額は689.4億台湾ドル。

■ USD/JPY
先週のドル/円は下落。週初4/14は144.10でオープン後、赤沢再生相により「為替については日米財務相の間で緊密に議論していく」との発言が伝わると、一時142.24まで下落。4/15は、日米貿易交渉前に小動きに留まり、概ね143円前後で推移。4/16は、半導体関連の対中輸出規制がリスクセンチメントを悪化させ、全般的なドル売りなどを背景に円は142円前後まで上昇。4/17は、日米関税交渉に「大きな進展があった」と「為替議論を回避した」との報道が流れ、ドルは142円台後半までに上昇した後、主に142円台で推移。4/18は、欧米イースター祝日の中で、ドルじり安を背景に円は142円台前半まで買われたものの、総じて動意に欠ける展開。最終的には前週比0.92%ドル安円高の142.22で先週の取引を終了。

今週の見通し

■ USD/TWD 予想レンジ：32.250-32.750
今週のドル/台湾ドルはレンジ推移を見込む。海外市場におけるドルのじり安が継続しているものの、台湾株市場における資金流出が続く中、揉み合いの推移となるだろう。

■ USD/JPY 予想レンジ：140.00-145.00
今週のドル/円は揉み合い推移を見込む。対米関税交渉の不透明感に加え、開催調整中の日米財務相会談では為替が直接協議される可能性もあるため動向には注目。

今週の予定

4/21 (MON)	香港・ユーロ圏休場
4/22 (TUE)	台湾3月輸出受注
4/23 (WED)	G20財務大臣・中央銀行総裁会議、米3月新築住宅販売、米4月製造業PMI
4/24 (THU)	米3月耐久財受注
4/25 (FRI)	4月東京都都区消費者物価指数

(Source) Thomson Reuters, Mizuho Bank

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。当資料に記載された内容は、事前連絡なしに変更されることがあります。投資に関する最終決定は、お客さまご自身の判断でなさるようお願いいたします。当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず、無断で引用、複製することを禁じます。